

施設名	工事名	工事概要			設計事務所	工事期間	
		構造	階数	延床面積 (m ²)		着工日	竣工日
泉中学校	金沢市立泉中学校校舎改築工事	RC造 一部 SRC造	3	6,801.32	建築：(株)大屋設計	H27.09.15	H28.12.16
	旧金沢大学職員寮解体工事	RC造	5	2,185.00		H30.01.11	H31.01.31
	旧金沢大学学生寮解体工事	RC造	4	5,677.83		H30.01.12	H30.09.28
	金沢市立泉中学校屋内運動場改築工事				建築：(株)大屋設計 設備：(株)中島設備事務所	H31.03.15	R2.02.20



屋内運動場改築工事



バランスドラーメン構造の鉄筋コンクリート造校舎で、当時の中学校建築計画の基本モデルとなった。

3 泉中学校

- 弥生1丁目校舎棟
- 昭和34年
- 鉄筋コンクリート造3階建
- 7,868㎡
- 体育館
- 昭和53年
- 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建
- 1,886㎡
- プール
- 昭和61年

▼ 体育館



▲ グランド



◀ プール

昭和40年代後半から昭和50年代にかけての学校建設は、第2次ベビーブームの影響による児童生徒の急増を原因とした過大規模校の分離新設にあわせ、市街地のドーナツ化現象や山間部地域の過疎化による過小規模校の統廃合および老朽化校舎の改築等が課題であった。

このような背景をふまえながら、これまでに小学校校舎39校、中学校校舎13校を建設し、教育環境の整備を行ってきたところである。

さらに、教育内容の多様化にともない、視聴覚教室、LL教室、多目的教室等の新設整備を図るとともに、体育施設を地域住民に開放するため、夜間照明、クラブハウス等を新設し、グラウンドおよび屋内運動場の開放を順次拡大してきた。

また、児童生徒急増のピークを過ぎた昭和60年度以降は、ゆとりと潤いのある教育環境を整備することに重点をおき、周辺地域の環境にマッチする校舎、また地域のシンボルにふさわしい外観に配慮するなど都市景観を高める学校建設に努力してきた。